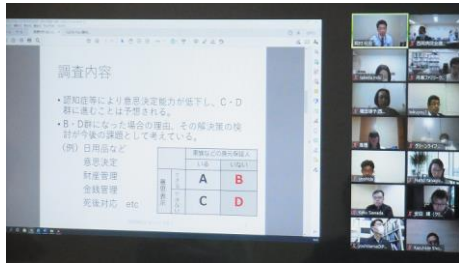


とよひら・りんく Newsletter

発行 札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会 「とよひら・りんく」事務局



札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会



令和2年度 第2回合同会議を開催しました。

令和2年8月31日（月）18：30～20：00（Zoomによる初のオンライン開催）

令和2年度、第2回「合同会議」を開催いたしました。

医療・介護関係者、弁護士等、40名が参加されました。

第2回合同会議の様子

※当会として初めてZoomによるオンラインでの開催を行いました。一部進行がうまくいかなかった点があり、今後の課題とさせていただきます。参加された皆様、運営へのご協力ありがとうございました。

本年度の取り組み「身寄りがいない人に関する対応の検討」の現状把握の調査結果を公開しました。

「身寄りがいない人に関する対応の検討」（現状把握）

当地域における身寄りがいない人に関する現状の把握を実施しました（令和2年7月現在）。

13機関（病院、介護施設、地域包括支援センター等）・総数2,934名について調査を行いました。

調査内容

- 認知症等により意思決定能力が低下し、C・D群に進むことは予想される。
- B・D群になった場合の理由、その解決策の検討が今後の課題として考えている。

（例）日用品など

- 意思決定
- 財産管理
- 金銭管理
- 死後対応 etc

		家族などの身元保証人	
		いる	いない
意思表示	できる	A	B
	できない	C	D

【図上】当会独自に作成した「身元保証人」「意思表示」についてのA～Dのカテゴリーについて調査を行いました。

認知症等が進行し、A→Cに進むことはありますが、B・D群の場合は身元保証人不在であり、日用品、意思決定・医療同意、金銭管理等の課題が生じることが想定されます。

【図下】2,934名の入院・入所・サービス開始時の今年7月現在の比較を行いました。

調査結果（総数）

・入院、入所、サービス開始時 → 7/1現在

2,934名		家族などの身元保証人		2,934名		家族などの身元保証人	
		いる	いない			いる	いない
意思表示	できる	2,558名 (87.18%)	51名 (1.74%)	意思表示	できる	2,509名 (85.51%)	51名 (1.74%)
	できない	316名 (10.77%)	9名 (0.31%)		できない	364名 (12.41%)	10名 (0.34%)

- 認知症等で意思表示ができない → 増加
- 身元保証人が「いない」から「いる」 → 変化なし（未解決??）

意思表示は「できない」は、約1.6%増加していました。

身元保証人が「いない」は意思表示「できる」「できない」に関わらず、数値的变化はなく、全体の約2%をしていました。

身元保証人が「いない」から「いる」への数値的变化はなく、約2%が身元保証人に関する課題があるという結果となりました。

調査結果（契約時の身元保証人）

- ・病院、介護施設、住宅系施設の全9施設が契約時に身元保証人（契約者は本人であるが）を求めている。
- ・緊急時の対応のこと、費用の滞納時のこと、身の回りのこと、意思決定のこと、退去時・ご逝去時のことなど理由は多岐にわたっていた。
- ・病院、介護施設、住宅系施設の7施設が契約書内で、2施設が別途定めていた。いずれかの形で記載をお願いしていた。

調査結果（身元保証人等の不在の対応）

- ・病院、介護施設、住宅系施設の9施設の内訳
「不在のまま契約」 4施設
「契約をしない」 3施設
「その他」 2施設
- ・契約後に身元保証人等が不在となった場合
「不在のまま契約」 5施設（成年後見制度等の活用等）
「契約をしない」 0施設
「その他」 4施設（施設側が保証人、事例無し等）
- ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所は不在後も支援を継続していた。

【図左】契約について、調査を行った病院、介護施設、住宅系施設全9施設は契約等に身元保証人を求めている。

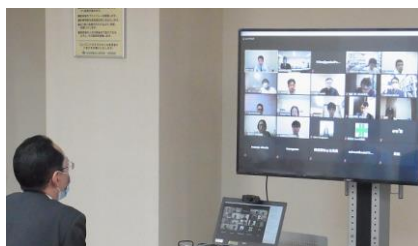
【図右】入院、入所中に身元保証人が不在となった場合は、不在のまま入所継続となっている場合が多かった。

本調査結果をもとに、地域の多職種で継続的に解決策の検討を行っていきます。

なお、本調査結果はホームページに公開するとともに、関連学会で発表を行う予定です。

アンケート結果から（一部）

- ・参考になるデータでした（病院医師、病院看護師 他 同様意見多数）。
- ・地域の実情を知ることができた（介護施設職員、調剤薬局事務 他 同様意見多数）。
- ・担当地域の身寄りがない方の全体統計を知ることができて参考になった（地域包括支援センター）。



「セリオむすめや」の方をお招きし、「身寄りがない人の対応について」「新型コロナウイルスにより亡くなられた方の遺体の火葬等の取扱いについて」、実際の対応についてお伺いをしました。身寄りがない人の対応については①各自治体による火葬対応の場合、②生活保護受給者の場合、③政権後見制度を利用している場合について実例を交えてお話ししていただきました。

◎新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方 及びその疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン → <https://www.mhlw.go.jp/content/000653472.pdf>

アンケート結果から（一部）

- ・普段聞くことのない話題で、非常にためになった（病院医師）。
- ・亡くなる前の準備（話し合い）が必要であることを再認識できた（病院看護師）。
- ・当院での対応や考え方と、葬儀会社さんの対応や考え方に大きな相違がないことが分かった（病院医療ソーシャルワーカー）。
- ・実際に体験された話はとても参考になりました。事前の情報収集と予想される関係機関と連絡をとる大切さを実感しました（介護施設 施設長）。
- ・葬儀屋さんとの接点がなく、今後利用者様との会話の中で生活保護受給者や後見人を利用している方へ伝えることができる内容となっていた（地域包括支援センター）

今後の合同会議のご案内（予定）

「とよひら・りんく」の今年度の合同会議は11/30（月）、3/29（月）に開催予定です。

※次回も Zoom でのオンライン開催を予定しています。

とよひら・りんく事務局 西岡病院 医療福祉課 岡村・横田・田附 ホームページ：<http://www.toyohiralink.jp/>

電話 011-853-8322（平日 9-17 時） メールアドレス：info@toyohiralink.jp